

受験番号

氏名

「建築意匠・建築史」は問1～問4までの全4問です。試験問題は3ページあります。それぞれの設問の問題文をよく読み、指示に従って解答してください。他の科目と同じ解答用紙には解答しないでください。解答用紙には解答した問番号がわかるように、解答用紙に記入してください。採点時に問番号がわからない解答は0点となります。

### 問1

下記の文章の①～⑩について、ふさわしい語句を解答用紙に「問1 ①×××、②△△△」のように記入してください。

・( ① ) 様式の建築の主な特徴としては、交差ヴォールトの稜線にリブ状の装飾を設けたリブヴォールト、2つの円弧を交差させ上昇性を象徴する( ② ) アーチ、大開口のある壁面を外部から支える( ③ ) などが挙げられる。( ① ) 様式の建築としては、アミアン大聖堂などが代表的事例として挙げられる。

・オーダーとは、定式化された柱の装飾方法を主とした古典主義建築の構成法であり、古代ギリシア建築やローマ建築などにおいて元々用いられていたものである。アカンサス(ハアザミ)をモチーフとする( ④ ) 式、柱が比較的細く柱頭の渦巻き模様が特徴的な( ⑤ ) 式、( ④ ) と( ⑤ ) を混合した( ⑥ ) 式などが知られている。西洋建築史においては( ⑦ ) 期に古典建築の再評価が進み、オーダーの比例関係による美が権威化されていった。

・五重塔や金堂からなる( ⑧ ) 寺の西院伽藍は日本最古の現存木造建築群とされている。飛鳥様式の代表事例であり、強い胴張のある柱、雲形肘木、人字形の割束、卍型をくずした高欄意匠などがみられる。

・日本の建築の近代化においては、外国人建築家によって西洋の様式建築を含めた知識が日本人に伝えられことで、日本人建築家が誕生した。工部大学校(現・東京大学工学部)において日本人建築家第1世代と呼ばれる学生たちを指導したのが、開拓使物産売捌所などを設計したイギリス人建築家の( ⑨ ) である。( ⑨ ) の学生としては、日本銀行本店の設計者である( ⑩ ) や、赤坂離宮の設計者である片山東熊などがある。

### 問2

下記の文章A～Dのうち、内容が正しいものを選択して、「問2 ①A ②A」のように解答用紙に記入してください。

- ①
- A: 古代メソポタミアにおける聖塔のことをテンピエットという。ウル第三王朝において建造されたものが比較的保存状態の良い遺跡として有名であり、日乾煉瓦や焼成煉瓦が用いられていたとみられている。
- B: 古代エジプトにおける内転びの法面をもった台形状の墓をカタコンベという。この構造が積み重なることで、階段状ピラミッドが形成されたとみられている。
- C: ロマネスク建築において開発された新たなドーム架構の形式をペンデンティブ・ドームという。各ベイに対する外接ドームとなり、4方向をプラン的に解放することが可能である。代表的な遺構にサン・マルコ教会(ヴェネツィア)がある。
- D: 古代のエーゲ海文明において柱の特徴として、下細りの柱がみられる。クレタ島・クノッソスの宮殿の柱、ミュケナイの遺跡にみられる獅子門の装飾などにその特徴がみられる。

受験番号

氏名

②

- A：バロック様式の建築では、教会建築の平面に集中式プランが多用される傾向にある。真円を多用し、オーダーを装飾的に用いて壁面に付与した付柱、3層構成の均整のとれたプロポーションの立面などがみられる。
- B：ル・コルビュジェの提唱した近代建築の5原則は「ピロティ」「屋上庭園」「自由な平面」「水平連続窓」「自由な立面」である。
- C：イスラム建築の重要なビルディングタイプとして、モスク建築があげられる。モスクの主要な構成要素としては、ミヒラブとよばれるメッカの方向を示すニッチ、ミナレットとよばれる説教台、ミンバールとよばれる光塔があげられる。また、イスラム建築のアーチはそのほとんどが半円アーチである。
- D：マニエリスムは、18世紀後半から主としてイギリスで発展した美意識を総称したものである。人工的にこしらえずぎずに、自然がそのまま生かされ、構成要素が突然に激しく変化することなく、穏やかに漸次的に推移するような庭園や建物を好む。ヴェルサイユ宮殿園内の集落であるアモーなどが、実例としてあげられる。

③

- A：弥生時代に見られる拠点集落は、古墳集落と総称される。高床主殿、付属建物による祭場域を中心に、首長居館域、工房域、高床群倉域、竪穴住居域などに区分される。佐賀県の吉野ケ里遺跡などが代表的遺跡である。
- B：平安中期以降、大極殿が衰退していく。その際、元は天皇の私的な殿舎であった紫宸殿が、政ごとの場となっていく。現在、京都御所に建てられている紫宸殿は、江戸時代に平安時代の様式で再建されたものとされている。
- C：日本の神社の代表的な形式のうち、切妻屋根に付加的に庇が付かない形式としては、妻入で入口が建物中央にある造りが神明造、同じく妻入で一方の軒が伸びて庇として機能する造りが流造、平入で入口が建物の中央にはない左右非対称の平面を持つのが大社造、同じく平入で入口が建物の中央に来るように入口側の中央の柱を除いてあるものが住吉造である。
- D：近世の城郭建築の現存遺構は少ない。戦前までは20か所が存在したが、1940年代に戦災や失火により8か所が焼失し、現在は12か所が天守を保持している。その12か所を一般に現存12天守と呼ぶ。名古屋城は現存12天守のひとつである。

④

- A：中尊寺金色堂は平安時代につくられた、奥州平泉の丘陵地寺院の阿弥陀堂である。平面は方三間。木瓦で葺かれており、金箔張となっている。後世に鞘堂に安置された。工芸の粋が尽くされている。
- B：千利休の茶室として現存するものは、妙喜庵に設けられた同仁齋が唯一のものであると考えられている。
- C：幕末から明治初期に日本で建てられた洋風とも和風ともつかない建物を帝冠建築と呼ぶ。外国人居留地での経験や見分をもとに、当時の棟梁や職人が独自解釈で意匠を創り出した。洋風建築を作りたかったが技術や材料が足りなくやむを得ず和洋折衷した場合と、意図的に和風と洋風の要素を折衷した場合がある。代表事例に開智学校があげられる。
- D：日本人による近代建築運動の1つに、メタボリズムグループによる運動があげられる。メタボリズムグループは、東京帝国大学工学部建築学科卒の6人が結成した。当時の東京帝国大学で教えられていた、工学的側面の強い建築教育に対して、建築の芸術面を主張した。主要なメンバーとしては、のちに逓信省営繕課において、東京中央電信局など多くの建築を手掛ける山田守があげられる。

受験番号

氏名

**問3**

寝殿造について、その平面配置としての特徴と、代表事例1例の名称を解答用紙に記入してください。解答部分の冒頭には問3と表記すること。

**問4**

今年開催された関西・大阪万博では、さまざまな実験的なパビリオンが仮設建築物として建設された。万博のようなイベントにおける意欲的な仮設建築物が、建築分野の技術開発において果たす役割について、外装材という観点に着目して解答用紙に記入してください。解答部分の冒頭には問4と表記すること。